令和８年度

中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練

図上訓練実施計画

2026.10.31[Sat]

総務省消防庁
鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／徳島県／香川県／高知県／愛媛県
全国消防長会中国支部・四国支部
中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練実行員会

目 次

1 訓練目的 ‣‣‣ 2
2 訓練日時 ‣‣‣ 2
3 訓練会場 ‣‣‣ 2
4 訓練方式 ‣‣‣ 2
5 訓練想定 ‣‣‣ 2
6 主要訓練項目 ‣‣‣ 2
7 訓練編成 ‣‣‣ 3
8 訓練統制上のルール ‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣ 3
9 振返り・訓練評価 ‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣‣ 3
10 訓練の中止 ‣‣‣ 3
11 その他 ‣‣‣ 4

※訓練全般（要綱、要領等含む）に係る名称及び用語の統一

- 緊急消防援助隊の運用に関する要綱：**運用要綱**
- 緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱：**要請要綱**
- 愛媛県緊急消防援助隊受援計画：**愛媛県受援計画**
- 令和８年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練実行委員長：**実行委員長**

1　訓練の目的

愛媛県における大規模災害の発生を想定して、愛媛県緊急消防援助隊受援計画に基づく緊急消防援助隊の出動要請、部隊の参集及び配置など実践に即した訓練を計画し、災害対策本部等の運営能力向上、防災関係機関及び緊急消防援助隊相互の連携強化を図るとともに、上記受援計画の検証を行うことを目的とする。

また、訓練想定において被災した消防本部の受援能力の向上や各機関における連携強化を図り、併せて各消防本部が定める受援計画等を検証する。

2　訓練日時

令和８年１０月３１日（土）　午前９時００分から正午まで

3　訓練会場

（１）愛媛県庁第２別館３階オペレーションルーム
（２）新居浜市消防防災合同庁舎５階災害対策室
（３）四国中央市消防防災センター３階大会議室
（４）愛媛県防災航空事務所

4　訓練方式

シナリオ非開示型（シナリオをプレイヤーに明かさず訓練を実施する）

5　訓練想定

令和８年１０月３１日（土）午前７時頃、愛媛県東部にある赤石山麓を走る中央構造線を震源とする大規模地震が発生し、愛媛県内において最大震度６強が観測された。愛媛県東予東部では建物倒壊、土砂崩れ及び石油コンビナート火災等の被害が多数発生している。愛媛県の消防力のみでは、対応が困難であることから、緊急消防援助隊の応援を要請する。

6　主要訓練項目

（１）愛媛県及び被災消防本部における受援能力の向上

●初動期において、収集・集約した情報をもとに、災害の規模・態様を把握するとともに、事態の進展を予測・分析し、被害状況と消防力を比較したうえで、劣勢と考えられる部分について、具体的な活動内容を決定し、県内消防（局）本部や緊急消防援助隊等への応援要請を判断すること

●進出拠点及び活動拠点までの進出ルートを検討できるよう、愛媛県及び被災消防本部が効果的な情報収集・集約活動を行い、情報共有することにより受援体制を確立すること

（２）指揮支援隊の指揮能力及び部隊運用にかかる調整能力の向上

●共有された情報や事態の進展を考慮し、部隊の活動中止基準や適切な活動を決定し、部隊の安全を確保すること

●事態の進展に伴い新たに判明した情報や事象に合わせ、応援の増隊や配置済の部隊の移

動を判断すること

●航空機の運用調整や、他の実動部隊（警察、自衛隊、海上保安庁、ＤＭＡＴ等）との役割分担や活動調整といった関係機関との連携

7　訓練編成

ロールプレイング方式の図上訓練の組織は、訓練統括者を責任者として、コントローラー及びプレイヤーで構成される。

（１）訓練統括者

愛媛県防災安全統括部長

（２）プレイヤー

総務省消防庁、指揮支援部隊（広島市消防局、岡山市消防局、神戸市消防局）、陸上自衛隊、海上保安庁、愛媛県警察本部、愛媛県立中央病院、愛媛航空株式会社、新居浜市、四国中央市、松山市消防局、新居浜市消防本部、四国中央市消防本部、愛媛県消防防災航空隊、愛媛県

※別添１訓練編成表参照

（３）コントローラー

訓練統制者及び状況付与担当者で構成する。

※別添１訓練編成表参照

8　訓練統制上のルール

訓練を円滑に実施するため、訓練参加者が活動の準拠とすべき訓練統制上のルールを定める。

なお、詳細は、別添３「訓練実施規定」及び別添４「コントローラー運営要領」による。

9　振返り・訓練評価

（１）振返り

訓練終了後、各班で訓練の振返りを行い、各班長が発表する

（２）訓練評価

各訓練会場において訓練評価者等による講評を実施する。

令和８年10月31日（土）11時40分～正午

※訓練終了後、電子メールによりアンケート調査を実施する。

10　訓練の中止

（１）総務省消防庁と協議し、実行委員長が訓練の全部又は一部を中止する判断基準は次のとおりとする。

ア　愛媛県内において、地震発生（震度５弱以上）又は県内の広範囲において大雨警報等の発表により災害対策が必要と見込まれる場合。

イ　他県において、大規模災害等が発生し、緊急消防援助隊の出動要請が考えられる場合。

ウ　その他の危機管理対策等を講ずる必要が生じた場合。

（２）訓練の全部又は一部の実施及び中止については、訓練当日の午前６時までに決定し、愛媛県から各県、各代表消防機関及び参加関係機関に連絡する。

（３）航空部隊については、（１）に記載する判断基準のほか、航空機を使用した訓練を実施する各機関及び当該航空機の機長等が訓練参加の中止を判断するものとする。

11　その他

（１）訓練時の服装は各機関で災害時に着用する服装とし、役割に応じたビブスを着用する。

（２）各会場のプレイヤールーム、コントローラー室については別添２を参照。

訓 練 編 成 表

別添１

県庁プレイヤー編成表

役　割	所 属	職 名	氏 名
災害対策本部			
訓練統括者 本部事務局長			
本部事務局次長			
対策本部担当チーフ			
対策本部担当			
対策本部担当			
情報・収集連絡班長			
情報収集・連絡班			
情報収集・連絡班			
情報収集・連絡班			
情報収集・連絡班			
災害対応担当チーフ			
災害対応担当			
災害対応担当			
航空運用調整班			
航空運用調整班			
航空運用調整班			
災害医療対策部			
災害医療対策部			
災害医療対策部			
消防応援活動調整本部（県広域応援・救助班）			
本部長 （広域応援・救助班長）			
副本部長			
本部員 （広域応援・救助班副班長）			
本部員 （広域応援・救助班員）			
本部員 （広域応援・救助班員）			
本部員 （広域応援・救助班員）			
本部員			
代表消防本部 LO			
被災地消防本部　LO			
被災地消防本部　LO			
被災地消防本部　LO			
統括指揮支援隊長 （副本部長）			
指揮支援部隊員			
指揮支援部隊員			
指揮支援部隊員（陸上）			
情報統括支援隊員			
情報統括支援隊員			
情報統括支援隊員			

役　割	所 属	職 名	氏 名
関係機関			
消防庁連絡員			
消防庁連絡員			
県警察本部連絡員			
自衛隊連絡員			
自衛隊連絡員			
自衛隊連絡員			
海上保安庁連絡員			
海上保安庁連絡員			
活動拠点ヘリベース			
航空指揮本部			
航空指揮本部			
航空指揮本部			
航空指揮本部			
航空指揮本部			
航空指揮支援隊			
航空指揮支援隊			
航空指揮支援隊			

その他（機長，運行管理者，整備）

新居浜市消防本部プレイヤー編成表

役　割	所 属	職 名	氏 名
指揮本部長			
副本部長			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
指揮支援隊長			
指揮支援隊員			
指揮支援隊員			
指揮支援隊員			
指揮支援隊員			
指揮支援隊員			

四国中央市消防本部プレイヤー編成表

役割	所属	職 名	氏名
指揮本部長			
副本部長			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
本部員			
指揮支援隊長			
指揮支援隊員			
指揮支援隊員			
指揮支援隊員			
指揮支援隊員			
指揮支援隊員			
指揮支援隊員			
指揮支援隊員			

県庁コントローラー編成表

役割	所 属	氏 名	内　　容
訓練統制者			
消防庁（陸上）			
消防庁（陸上）			
消防庁（航空）			
関係消防・航空			
各市町			
愛媛県警察			
自衛隊			
海上保安庁			
医療機関			
その他関係機関			
訓練評価員			

	所　属	氏　名	内　　容

新居浜市消防本部コントローラー編成表

役割	所 属	氏 名	内　　容
訓練統制班長			
訓練進行			
訓練進行			
状況付与等			
状況付与等			
状況付与等			
状況付与等			
状況付与等			
状況付与等			
指揮支援隊案内・送迎			
指揮支援隊案内・送迎			
参観案内			
参観案内			
記録			
訓練検討員			
訓練評価員			

四国中央市消防本部コントローラー編成表

役割	所　属	氏　名	内　　容
訓練統制班長			
状況付与管理			
状況付与管理			
状況付与等			
状況付与等			
状況付与等			
状況付与等			
指揮支援隊案内			
指揮支援隊案内			
参観案内			
参観案内			
記録			
訓練評価員			
訓練評価員			

図上訓練電話番号表

県庁プレイヤー

連絡先	電話番号		FAX
災害対策本部			
対策本部			
情報・収集連絡班			
災害対応班			
航空運用調整班			
消防応援活動調整本部			
調整本部員 （広域応援・救助班員）			
統括指揮支援隊 （広島市消防局）			
代表消防本部 LO			
被災地消防本部 LO（新居浜市）			
被災地消防本部 LO（四国中央市）			
保健医療福祉調整本部			
保健医療調整本部 DMAT調整本部			
関係機関			
消防庁連絡員			
県警連絡員			
自衛隊連絡員			
海上保安庁連絡員			

連絡先	電話番号		FAX
航空指揮本部			
ヘリベース			

新居浜市消防本部プレイヤー

連絡先	電話番号		FAX
指揮本部			
指揮支援隊 （岡山市消防局）			

四国中央市消防本部プレイヤー

連絡先	電話番号		FAX
指揮本部			
指揮支援隊 （神戸市消防局）			

県庁コントローラー

連絡先	電話番号		FAX
訓練統制			
消防庁（陸上）			
消防庁（航空）			
関係消防			
航空関係			
各市町			
県警察本部			
自衛隊			
医療機関			
NEXCO等関係機関			

新居浜市消防本部コントローラー

連絡先	電話番号		FAX
訓練進行班			
状況付与班			
緊急消防援助隊			
香川県・高知県大隊			

四国中央市消防本部コントローラー

連絡先	電話番号		FAX
訓練統制班			
状況付与班			
緊急消防援助隊			
徳島県・広島県大隊			

別添２

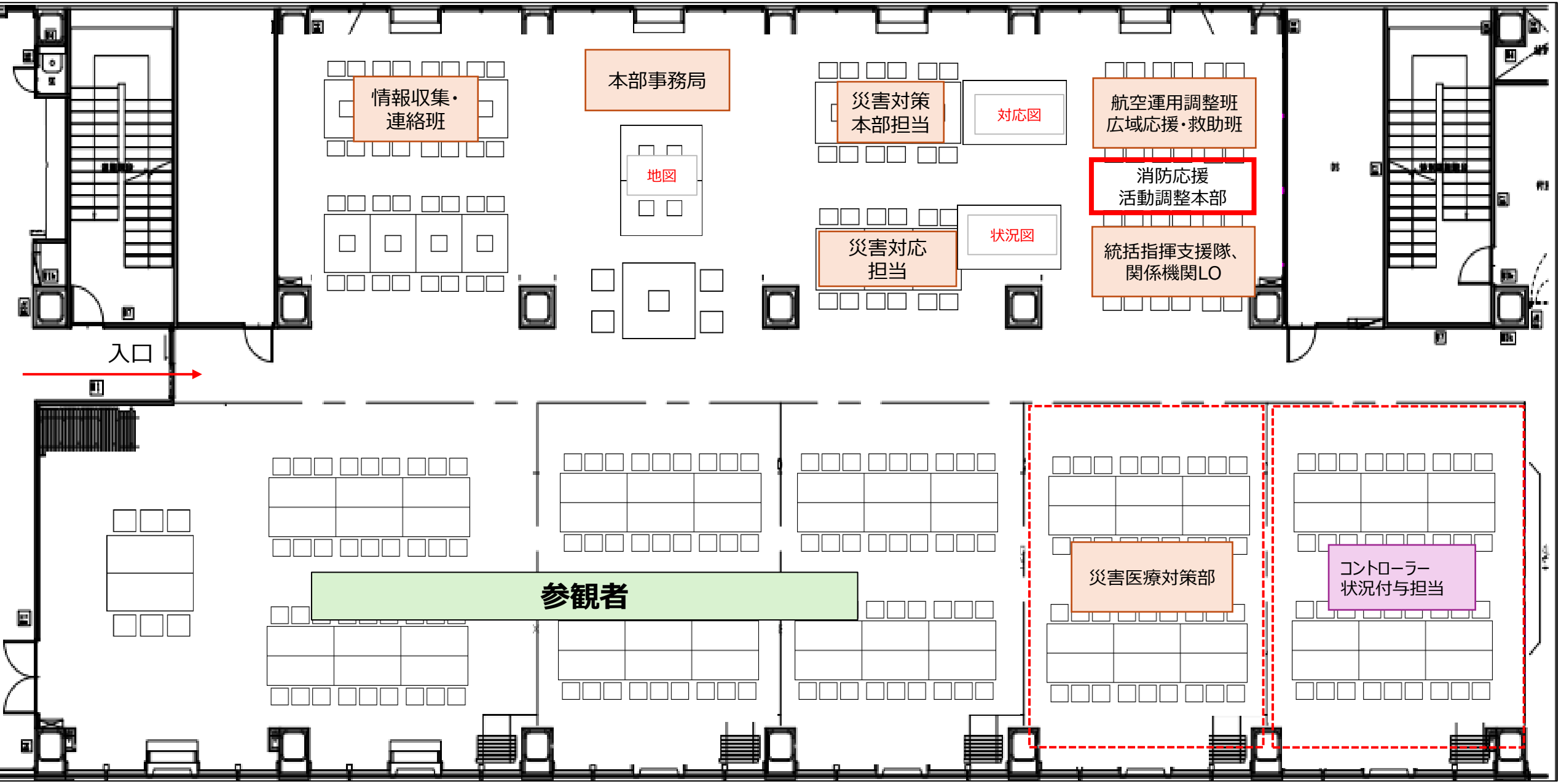
プレイヤー・コントローラー配席図

：プレーヤー

：コントローラー

N

第２別館３階オペレーションルーム



別添３

訓 練 実 施 規 定

目次

１　訓練実施規定とは

２　訓練組織の構成及び役割

３　全般実施要領

４　使用する書類等について

５　各種情報の収集・伝達について

６　訓練中の記録について

７　その他統制事項

８　添付資料

1　訓練実施規定とは

本訓練は、ロールプレイング方式の図上訓練であり、２時間３０分の災害対応活動を実運用に即して訓練することから、プレイヤーは、実際の災害対応時と同様に行動することが前提となる。

訓練実施規定とは、訓練を効果的かつ円滑に進めるため、訓練参加者が活動の準拠とすべき、訓練実施上のルールを定めたものである。

2　訓練組織の構成及び役割

ロールプレイング方式の図上訓練の組織は、訓練統括者を責任者として、コントローラー及びプレイヤーで構成される。

(1)　訓練統括者（愛媛県防災安全統括部長）

訓練の責任者として、コントローラー及びプレイヤーを指揮して、訓練の運営・評価等全般を統括する。

(2)　プレイヤー

災害対策本部を設置して、コントローラーから示される状況に応じて、必要な情報等を積極的に収集した上で、自ら判断し、実運用に即した災害対応に従事する。

(3)　コントローラー

訓練を企画・運営し、プレイヤーに対して状況を付与して進行を統制するとともに、プレイヤーの行動について評価・検証等を行う。

①　進行管理

プレイヤーの活動状況を把握し、訓練が意図した方向に進行しているか、運営上の問題がないか等について確認するとともに、状況付与者に指示し、訓練の進行を管理する。

②　状況付与

時間の推移に応じてプレイヤーに被害状況等を付与するとともに、ダミー機関を兼任し、プレイヤーからの問合せ等に対応する。

3　全般実施要領

(1)　訓練の開始時刻及び時間進行

訓練の開始時刻は、１０月３１日（土）９時００分とし、９時４０分までは実時間から２時間遡った訓練時間で進行する。９時４０分以降は訓練時間から２時間経過した状況で再開し、終了予定時刻の１１時３０分までを実時間で進行する。ただし、図上訓練の便宜上、県内応援隊、緊急消防援助隊、警察、自衛隊等各機関の移動時間は考慮する場合がある。

(2)　訓練前の事前ミーティング

１０月中旬に、訓練参加者向けに説明会を行う。また、新居浜消防本部及び四国中央市消防本部で行う訓練については、訓練開始前、８時４５分から最終説明を行う。内容は、訓練の目的及び開始時における気象等の設定条件並びに訓練

で使用する連絡手段を周知し、参加者全員が共通認識のもと訓練に臨むものとする。

(3)　訓練開始・終了

①　訓練の開始

３１日午前７時ごろに、愛媛県東部にある赤石山麓を走る中央構造線を震源とする最大震度６強の地震が発生したことにより、７時００分（実時刻９時００分）から訓練を開始する。

なお、災害警戒体制中に地震が発生した想定で開始する。

②　訓練の終了

訓練終了の合図は、企画運営者等の「訓練終了」指示による。

(4)　訓練間における業務の実施要領

①　プレイヤーが実施する処置・対策等は、「愛媛県緊急消防援助隊受援計画」、「愛媛県緊急消防援助隊航空部隊及び航空指揮支援隊受援計画」、「令和８年度愛媛県災害警戒本部及び災害対策本部運用マニュアル」、「愛媛県消防広域相互応援協定」、「愛媛県消防広域相互応援計画」に準拠する。

②　各プレイヤー間の調整・報告・通知等は、実行動（口頭、文書）で行う。

(5)　訓練の進行方法

コントローラーは、プレイヤーに対して、被害発生に係る各種状況や防災関係機関の対応状況等を適宜付与し、プレイヤーの主体的な対応により訓練を進行させる。

プレイヤーは、災害対策本部及び消防応援活動調整本部並びに各指揮本部を運営し、コントローラーから付与される状況に対応して判断するとともに、必要な情報の収集、整理、分析、共有、調整等、実運用に即した災害対応を行う。

4　使用する書類等について

(1)　書類様式

本訓練で使用する書類の様式は、「令和８年度愛媛県災害警戒本部及び災害対策本部運用マニュアル」、「愛媛県緊急消防援助隊受援計画」及び「愛媛県消防広域相互応援協定」の様式を使用する。なお、定めのない場合や定められた様式により難い場合は、適宜の様式を使用する。

(2)　事前の準備

訓練時に使用する関係資料、図面、地図及び文具類等は、受援側プレイヤーで事前に準備し、携行する。

5　各種情報の収集・伝達について

(1)　情報連絡の基本ルール

① プレイヤー間の情報伝達は、口頭、電話、システム等により実施する。
② プレイヤーとコントローラー間は、電話、システム、状況付与指示書の手交により実施する。

(2) 電話の使用方法

電話をかける場合は、訓練用に作成した電話番号表の番号にかけ、電話番号表以外の番号は使用しない。なお、電話をかけた場合は、「訓練です。こちらは○○ですが、●●ですか？」など連絡先を必ず確認する。

「訓練用電話番号表」は、当日までに配布する。

(3) 訓練時の状況付与

各市町及び防災関係機関等からの報告・連絡・問合せ等は、電話、状況付与指示書または災害情報システムにより状況付与される。

これらに対する問合せは、電話または災害情報システムで行うものとする。

6 訓練中の記録について

(1) プレイヤーの記録

プレイヤーの活動状況を記録するため、調整本部の協議状況やホワイトボード等への記録状況を、訓練中、適宜、写真に記録する。

(2) アンケート調査票の記録・提出

ア 県の訓練参加者

訓練終了後、コントローラー及びプレイヤー参加者に「アンケート調査票」を配布し、参加者は本訓練についての感想・意見、実災害に向けての改善点を具体的に入力し愛媛県消防防災安全課に提出する。

イ 防災関係機関等の訓練参加者

訓練終了後、プレイヤー及びコントローラー参加者に「アンケート調査票」を配布し、参加者は本訓練についての感想・意見、県との連携・要領についての改善点等を具体的に入力し、愛媛県消防防災安全課に提出する。

7 その他統制事項

訓練時の服装は各機関で災害時に着用する服装とし、役割に応じたビブスを着用する。

8 添付資料（状況付与指示書）

別紙様式

訓練

カード連番	
検 証 項 目	

状況付与指示書

付与担当		―	
付 与 元		付与時間	
付 与 先		付与方法	
付与条件			
添付資料			

【付与内容】

こちらは、　　です。

備 考 / メ モ

別添４

コントローラー運営要領

目次

１ 目　的

２ コントローラーの活動のポイント

３ コントローラーの役割及び活動上の留意事項

４ 添付資料

1　目　的

プレイヤーの自発的な状況判断・行動等を促すような実際的な状況の付与及び円滑な訓練の進行管理を行い、訓練目的の効果的な達成を図る。

2　コントローラーの活動のポイント

(1)　訓練目的達成の追求

(2)　プレイヤーの自主積極性を尊重した訓練の運営

(3)　実際的かつ緊迫感のある適時適切な状況付与

3　コントローラーの役割及び活動上の留意事項

(1)　役　割

訓練シナリオに基づく状況付与一覧に従い、消防庁、応援県、関係機関、住民等として、プレイヤーに対し必要な状況付与を行うとともに、プレイヤーからの問い合わせなどに対応する。

(2)　活動上の留意事項

ア　状況付与一覧に基づいた付与（基本状況）

状況付与一覧に基づき、① 決められた時間に、
② 決められた相手に対し、
③ 決められた方法で、
④ 決められた内容を付与する。

※ 別紙１「状況付与指示書（コントローラー用）の見方」

イ　条件付き状況の付与

プレイヤーの行動等が、設定した条件（プレイヤーが予想した活動をしない、プレイヤーの行動により付与時間を決定等）に該当した場合に付与することを条件付き状況の付与という。

この状況付与には、付与条件が記載してあり、その条件に該当した場合に付与する。

ウ　臨時状況の付与

基本状況又は条件付き状況の付与に対し、プレイヤーが期待した行動をしない場合又は訓練目的に即さない行動をとった場合において、対応する状況付与が準備されていない場合に臨時に付与するものである。

付与要領は、次のとおりである。

① 訓練シナリオの範囲の中で対応できる場合は、状況付与担当者間で調整し、臨時状況を作成して付与する。

② 訓練全般に影響を及ぼすような重要な問題に関する臨時状況付与については、訓練統括者に報告し指示を受け、臨時状況を作成して付与する。

エ　プレイヤーからの質問への対応

プレイヤーから質問がきた場合は、以下の要領で対応する。

① 即答が可能で、かつその回答がシナリオに影響がない場合

→　即答する。

② 自分の判断では回答できない場合（回答が分からない、または回答によりシナリオに影響があると判断した場合）

→　相手の名前を確認し、後でかけ直すと回答して一旦電話を切る。その後、状況付与担当者間で相談し、回答が確定したら電話し回答する。（重要事項については、さらに訓練全体管理者へ相談する。）

③ プレイヤーからの問合せや質問・要求等に対する処置を実施した場合又はシナリオ等にはない事項で、プレイヤーに指示・回答等を行った場合やプレイヤーから要請・問合せ・指示・報告があった場合は、担当ごとに別紙２「処置票」に記録し、重要な事項と思われる内容は、訓練統制者に報告する。

オ　実際的かつ緊迫感のある適時適切な状況付与

① 状況付与指示書の「付与条件」に注意し、記載されている付与時間より早い時間に問い合わせがあった場合、その時点でカードの内容を付与するか、「調査中」と答えて指定された時間に付与するかは、状況付与全体の進行状況とプレイヤーの活動状況等を勘案し、訓練統制者と調整した後に付与する。

② 状況付与を行う上で重要な点は、付与する役柄になりきって演技することである。口調・間合い等がプレイヤーに実際の災害時の緊迫感を与えることから、その役柄の置かれている状況を意識した状況付与に努める。

③ 状況付与に際して、付与する内容を変えない範囲で言い回し・間合い・アドリブ等を加え、実際的な付与に努める。

カ　状況付与指示書及び処置票の回収

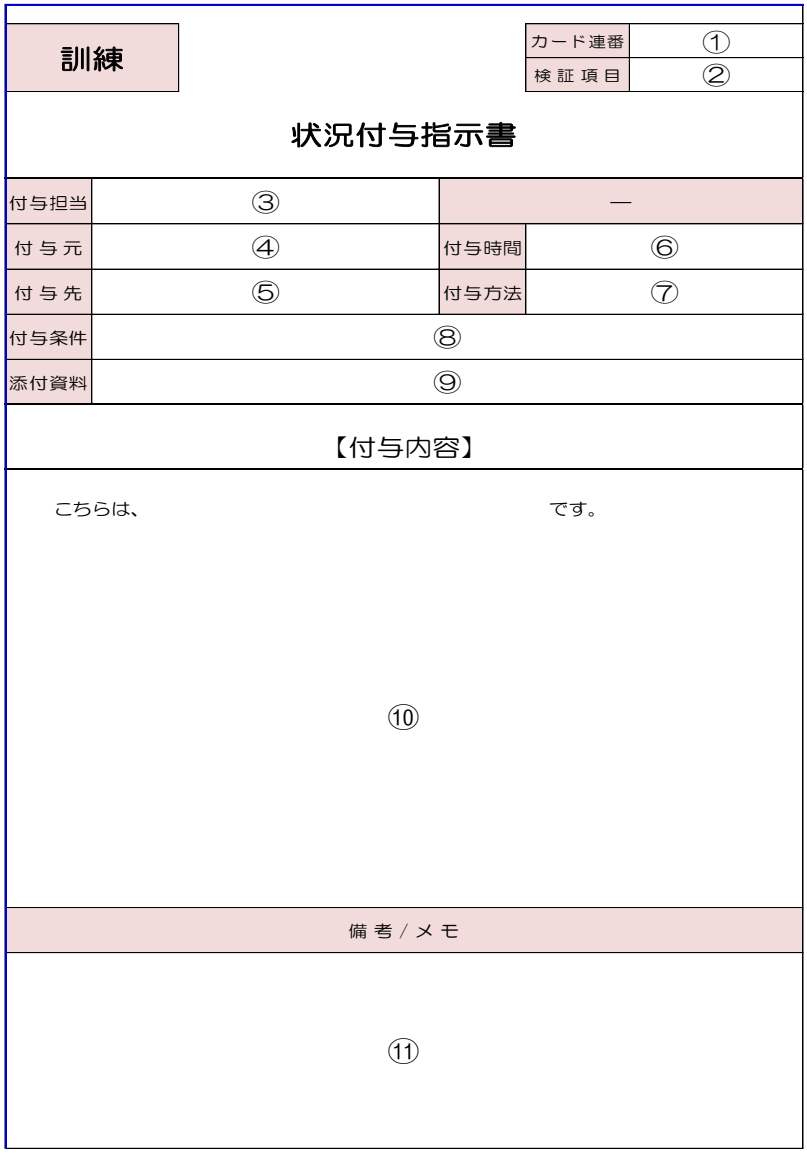
状況付与指示書及び処置票は、行動記録として整理するため、訓練終了後に回収する。

別紙１

状況付与指示書（コントローラー用）の見方

※　状況付与指示書には、以下の情報が記載されている。

①「カード連番」・・・・・付与する番号
②「検証項目」・・・・・・訓練により検証する項目
③「付与担当」・・・・・・付与担当者名等（付与元を記載している場合あり）
④「付与元」・・・・・・・付与担当の組織名等
⑤「付与先」・・・・・・・付与先の組織名等
⑥「付与時間」・・・・・・状況付与を行う時刻
⑦「付与方法」・・・・・・条件付与を行う方法
⑧「付与条件」・・・・・・条件付与を行う条件
⑨「添付資料」・・・・・・添付資料がある場合はこの欄に記載している
⑩「付与内容」・・・・・・条件付与の内容を記載
⑪「備考／メモ」・・・・・参考情報やプレイヤーからの質問事項等を記載



訓練			カード連番	①
			検証項目	②

状況付与指示書

付与担当	③	—	
付与元	④	付与時間	⑥
付与先	⑤	付与方法	⑦
付与条件	⑧		
添付資料	⑨		

【付与内容】

こちらは、　　です。

⑩

備考／メモ

⑪

別紙２

処　　置　　票（コントローラー用）

<table>
<tr><td>件　　名</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">問い合わせ
質　　問
要　　求
等</td><td>訓練職務：</td><td>氏名：</td><td>対応時間：</td></tr>
<tr><td colspan="3">＊：プレイヤーの問い合わせ内容等を確認し記録</td></tr>
<tr><td rowspan="2">処　　置
回　　答
等</td><td colspan="2">回答者氏名：</td><td>回答時間：</td></tr>
<tr><td colspan="3">＊：問い合わせ内容等を検討し、回答</td></tr>
</table>

・問い合わせ欄は、プレイヤーの職務･氏名等を、対応したコントローラーが記入

・回答者氏名欄は、対応したコントローラーの氏名を記入

・処置・回答等は、根拠を明確にする。